

数学ができるようになるかどうかは、
当たり前のことをバカにせず、省略せずに、
順番に書く練習ができるかどうか、にかかっています。

新井紀子（数学者）

（『ほぼ日の就職論 はたらきたい。』より）

数学が苦手な人は、いきなり引いてしまうかもしれません。でもここは、数学に限らずいろいろな教科・科目、あるいは希望の進路に向けての勉強についても言えることです。つまり、

（ ）ができるようになるかどうかは、当たり前のことをバカにせず、省略せずに、順番に書く練習ができるかどうか、にかかっています。

ということ。

今の自分にとって、（ ）の中には何が入るでしょうか。

3年生のこの時期は、どんな進路を考えるにしても、何にせよ、基礎をしっかりと固める時期です。背伸びをせず、ちゃんと順番に取り組んでいくことが大切です。

一般的に、高校生の勉強時間の目安は、「学年数+1」時間だといわれます。「エ！そんなに？」と思うのでしょうか？ 今、社会は高校生や大学生に対して、「もっと勉強しよう」と呼びかけています。（「ホンマか？」と思う人は、新聞やテレビのニュースなんかを、気をつけて見てみてください。）

たぶん高校時代に身につけて、一番役に立つことは「勉強する習慣を持つ」ということです。どんなかたちであれ、これから先の人生の中で、そのことを問われないことはありません。まず「現在の自分の勉強時間+1」時間を目指してください。

どのような進路をとるにせよ、3年生の一学期の成績は大変大きな意味を持ちます。悔いを残さないよう、惜しまず努力することが大切です。

□ 4年制大学を目指す人へ

現役で第一希望の大学を合格している人の多くは、遅くともゴールデンウィークから受験勉強を始めています。いかに早く「受験生」になるかが、大きな別れ道になります。

受験勉強というのは、簡単にいってしまえば、

問題を解く → 問題の答え合わせをする → 解答の解説をじっくりと読む

というサイクルを繰り返すことです。そして、「まちがいノート」などを作って、自分が

間違えた内容をノートにまとめていくという作業を根気よく続けることです。その上で、模擬テストを受験することで、本番に備えていくことです。

□短期大学を目指す人へ

短期大学を目指す人の勉強法も、基本的には4年制大学と変わりません。短期大学へ進学する人は、幼児教育系をはじめとして、栄養士・美容師・歯科衛生士・看護師などの資格系、語学系といった分野を目指す人が多いと思います。その意味では、人と関わる仕事に就きたいと考えている人が多いということでしょう。欠席をしないよう気をつけ、幅広い教養を身につけるよう心がけてください。

□看護・医療専門学校を目指す人へ

看護・医療系学校の入試対策は、そのまま国家試験対策へと直結しています。また、入試科目にない科目であっても、おろそかにすれば国家試験でつまづくことにもなりかねません。医療の現場に出るということの責任を自覚して、勉学に励んでください。

□専門学校を目指す人へ

専門学校が扱う分野は、本当に多岐にわたります。進学後、大学に劣らず、教科の学習が求められる分野、実習中心で資格を取得していく分野、技術を磨いていく分野など。専門学校によっては、入学試験とは別に学力試験を課して、特待生を選抜する学校もあります。きちんと実力をつけていくことが大切です。

□公務員を目指す人へ

公務員試験は、その独特の形式に慣れることが大切です。希望する分野の問題集を繰り返しやる。公務員予備校が主催する無料の講習などを利用して、そのテキストを徹底的にやり込む。本番まで5ヶ月を切っています。焦ることはありませんが、しっかりと取り組んで、苦手な分野をなくす努力をしてください。

□民間就職を目指す人へ

企業によっては、学校の成績は本人の「努力の証」として重視すると、はっきりと言われるところがあります。現在の成績にかかわらず、その努力が伝わるよう、しっかりと学校の勉強に取り組んでください。一般教養など、そのような積み重ねの中で身につくことも多くあります。また、緊張感を持って授業を受けることが、そのまま面接試験の準備にもなります。授業を大切にしてください。

□未定の人へ

未定の方は自分が何をしたいのかをしっかりと考えてください。学校生活は、何も決まっていなくてもどんどん進んでいきます。時間がたてば、決まるというものではありません。どんな進路にも対応できるよう、授業を大切にしつつ、進路指導や担任の先生としっかりと相談して、自分の進路を考えてください。